

京都市の南東部、山科に位置する京都橘大学が、第二体育館の照明設備をリニューアル。既設のメタルハイドランプから、円錐状の反射構造によって眩しさを低減したLED 高天井器具へ更新し、上方を見上げることの多いスポーツを快適に楽しめる光環境と省エネを両立させています。

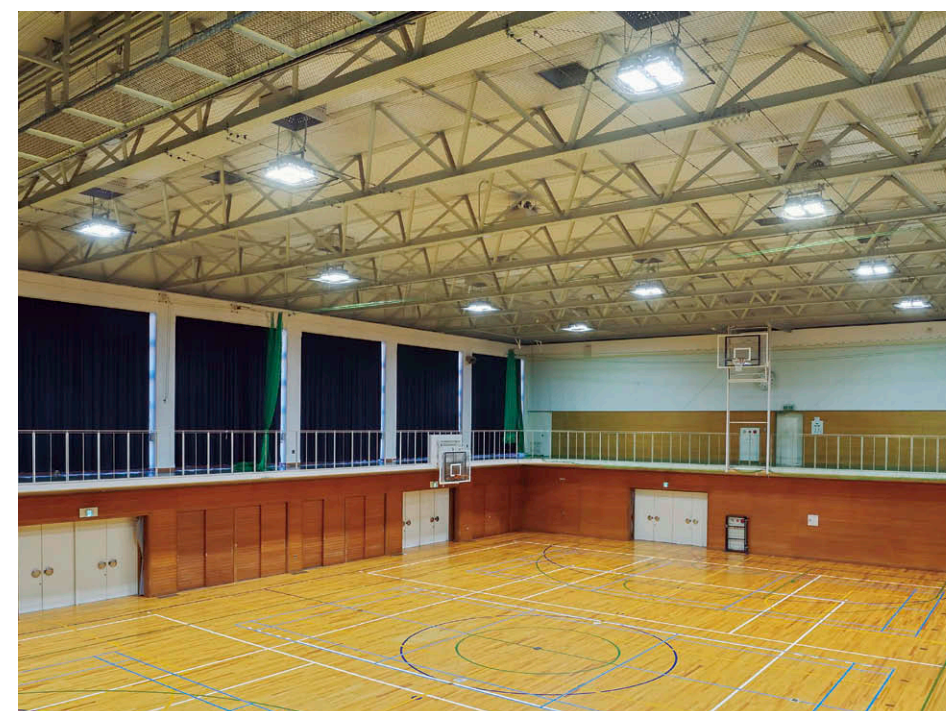
京都橘大学は、1902年（明治35年）京都市上京区に創立された京都女子手藝学校に始まる、長い歴史を持つ大学。2005年に男女共学化となり、2017年には学園創立115周年、大学開学50周年を迎えました。教学理念は「自立・共生・臨床の知」。人文・教育・社会・医療系の多様な学部・学科を設置し、男女両性の《自立》と《共生》、社会と人々の幸福に貢献できる実践的な学問の追究と人材の養成を目指しています。



【物件概要】  
所在地：京都府京都市山科区大宅山田町 34 番地  
建築面積：1,089 m<sup>2</sup>  
延床面積：1,903 m<sup>2</sup>  
構造・規模：RC 造+S 造・地上 3 階建  
施主：学校法人 京都橘学園  
設計・施工：電気/東邦電気産業(株)  
リニューアル完成：2018 年 8 月



広角タイプの① LED 高天井器具により、高い均斉度を確保。



① LED 高天井器具を防球ネットの高さに合わせて設置。

省エネ性、光環境、緊急避難所に求められる機能、それらすべてを満たした LED 高天井器具。

広大なキャンパスの北門近くに位置する第二体育館は、1983 年の竣工。ハンドボール、フットサル、バドミントンなどに使用される照明設備について、省エネ化と老朽化対策を目的としたリニューアルが行われました。既設のメタルハイドランプの設置位置に、エネルギー消費効率 181.2 lm/W の優れた省エネ性と、緊急避難所において要求される耐震性能「耐震クラス S2」を兼ね備えた、700W 形水銀ランプ器具相当の LED 高天井器具（軽量タイプ）を配置。仰角で見上げた際に LED 素子が目に触

れにくい円錐状の反射構造を採用した LED 高天井器具に、さらに拡散カバー付下面ガードを装着することで、競技者への眩しさを軽減した光環境とし、明るさは最大値 858 ルクス、平均値 550 ルクスとしています。また、独自の吊り下げユニットを用いることで、床面からの高さ 10m に設置されている防球ネットと器具の高さを合わせ、ボールやバドミントンのシャトルなどが器具の上部に乗らないよう配慮。拡散カバー付下面ガードによりボールが当たった際の安全性も高めています。

既設照明の取り付け位置に配置された①LED 高天井器具。



① LED 高天井器具に②2灯用拡散カバー付下面ガードを装着し2台一組として配置。

| 主な掲載器具一覧 |                  |                 |    |           |
|----------|------------------|-----------------|----|-----------|
| 設置場所     | 器具名 (品名)         | 形名              | 台数 | 備考        |
| 屋内       | ① LED 高天井器具      | LEDJ-34001N-LD9 | 24 | 消費電力：188W |
|          | ② 2灯用拡散カバー付下面ガード | LEDX-20070GF    | 24 | -         |